

障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律の実施に
関する調査研究協力者会議運営規則（案）

平成 27 年 6 月 日
障害を理由とする差別の解消
の推進に関する法律の実施に
関する調査研究協力者会議

障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律の実施に関する調査研究協力者会議
（以下「会議」という。）の議事の手続その他会議の運営に関し必要な事項は、この規則の
定めるところによる。

（会議の公開）

第 1 条 会議は、公開して行う。ただし、個人情報を含む事項を扱う場合その他正当な理
由により非公開とすることが適当と認める場合は、主査は、会議の合意を得て非公開と
することができる。

（会議の傍聴）

第 2 条 会議を傍聴しようとする者は、あらかじめ、文部科学省初等中等教育局特別支援
教育課（以下「事務局」という。）の定める手続きにより登録を受けなければならない。
2 前項の登録を受けた者（以下「登録傍聴人」という。）は、主査が、登録傍聴人が会
議を撮影し、録画し、又は録音することにより公平かつ中立な審議に著しい支障を及
ぼすおそれがあると認める場合その他正当な理由があると認める場合を除き、会議を
撮影し、録画し、又は録音することができる。
3 登録傍聴人は、前項に規定する行為を行う場合には、事務局の指示に従うこととし、
会議の円滑な進行を妨げる行為をしてはならない。
4 前項に規定する行為を行う者に対しては、主査は退場を命ずる等適当な措置をとる
ことができる。

（会議資料の公開）

第 3 条 会議において配付した資料は、公開するものとする。ただし、個人情報を含む事
項を含む場合その他正当な理由により非公開とすることが適当と認める場合は、主査は、
会議の合意を得て資料の全部又は一部を非公開とすることができる。

（議事要旨の公開）

第 4 条 主査は、会議の議事要旨を作成し、これを公開しなければならない。ただし、公
開することにより公平かつ中立な審議に著しい支障を及ぼすおそれがあると認める場合
その他正当な理由があると認める場合には、主査は、会議の合意を得て当該議事要旨の
全部又は一部を非公開とすることができる。

（雑則）

第 5 条 この規則に定めるもののほか、会議の議事の手続その他会議の運営に関し必要な
事項は、主査が会議に諮って定める。

附則

この規則は、会議の決定の日から施行する。